



SOROPTIMIST®
Investing in Dreams

国際ソロプチミスト町田が「さらなる飛躍を」と題し、武相新聞に記事掲載されました 2021年1月1日(金)

国際ソロプチミスト町田
会長 柴崎亜紀子

新年あけましておめでとうございます。

はじめに、長引く新型コロナウイルス感染拡大のなか、医療機関や福祉施設等に従事されている方々へ敬意を表すると共に、心から感謝申し上げます。

2021年1月1日、新年を迎えるにあたり、女性、女兒の生活を向上させるための奉仕団体として活動してきた「国際ソロプチミスト町田」について、報道機関より取材依頼を受け、武相新聞2021年新年度号(2021年1月1日発行)で、特集記事として記事掲載頂きました。

本紙では、前期、国際ソロプチミスト町田が認証30周年を迎えたことをきっかけに、30年間の奉仕活動を振り返り、また現在継続し活動中の奉仕事業について、細かく紹介頂きました。

2021年は、ウィズコロナでの幕開けとなり、新しい日常で、変化を恐れず変化することの大切さを信じて、活動することが必要とされます。

会員一同、勇気を持って、そして、気を引き締めて、更なる活動へ邁進していきたいと思えます。

最後に、私たちの活動が、社会の意識啓発になるためにも、多くのメディアにご協力頂き、支援活動を取り上げて頂けることに心より感謝です。

以下、掲載記事を添付します。

武相新聞

発行所 町田タイムズ社
郵便番号 194-0005
東京都町田市南町田4-24-20
編集発行人 山根 栄子
電話 042(799)1100(代)
00150-3-103219 武相新聞

緑豊かな英国調
ご宿泊・ご婚礼
ご宴会・出張料理
ボウリング
割烹千壽・点心備置
ホテルラポール千寿園
JR町田駅南口徒歩P150台
TEL. 042(749)1121
http://www.hotel-rs.co.jp

国際ソロプチミスト町田 認証30周年 さらなる飛躍を



ソロプチミスト文庫への感謝状贈呈式

地域社会の中で、女性と女性の生活を向上させるための奉仕活動にまい進している国際ソロプチミスト町田(SI町田、柴崎亜紀子会長)は昨年、認証30周年を迎えた。コロナ禍の折り記念式典などは控えたが、記念事業の薬師池公園四季彩の杜西園「ウェルカムアート」への時計塔寄贈をはじめ、市教育センター支援、これも食堂支援、SI町田の過去のDVD(ドメスティックバイオレンス)終結同キャンペーンなどを実施したほか、これまで支援してきた子ども施設も訪問するなど、コロナ禍で目標が急変する中、メンバーたちは設立当初と変わらず思いで地域を駆け巡っている。

設立当初の思い胸に

SI町田は1990年「ンサー」設立。当初は団体3月、SI八王子をスボ 体の知名度が低く奉仕時



薬師池公園四季彩の杜西園に設置された時計塔

にげんな顔をされることもあったが、最近では30年に及ぶ努力が実り、地域ばかりか官公庁からも声が掛かるなど、活動の裾野を広げている。設立当初から続いている市教育センターへの「ソロプチミスト文庫」の支援は昨年、長年にわたる役目を終え同センターから感謝状を受けた。同センターは、市内の

子ども(18歳まで)の不登校や友人、教育関係など多様な相談を受けている。年間でも500件以上(向)相談者を含めた述べ件数は約1万件)、多いときには一日に約30件の対応に追われることがあるという。SI町田は、心理的な相談に必要な専門書や、フレイトビート(遊戯療法)に必要な専門書や、感謝状の贈呈式では、市教委の辻和夫担当課長が「長年にわたるサポートに厚く感謝する。SI町田は教育センター以外にも、市内の子どもたちの支援活動も聞かされていく。ひ、町田の子どもたち、そして、

「子ども(18歳まで)の不登校や友人、教育関係など多様な相談を受けている。年間でも500件以上(向)相談者を含めた述べ件数は約1万件)、多いときには一日に約30件の対応に追われることがあるという。SI町田は、心理的な相談に必要な専門書や、フレイトビート(遊戯療法)に必要な専門書や、感謝状の贈呈式では、市教委の辻和夫担当課長が「長年にわたるサポートに厚く感謝する。SI町田は教育センター以外にも、市内の子どもたちの支援活動も聞かされていく。ひ、町田の子どもたち、そして、

「子ども(18歳まで)の不登校や友人、教育関係など多様な相談を受けている。年間でも500件以上(向)相談者を含めた述べ件数は約1万件)、多いときには一日に約30件の対応に追われることがあるという。SI町田は、心理的な相談に必要な専門書や、フレイトビート(遊戯療法)に必要な専門書や、感謝状の贈呈式では、市教委の辻和夫担当課長が「長年にわたるサポートに厚く感謝する。SI町田は教育センター以外にも、市内の子どもたちの支援活動も聞かされていく。ひ、町田の子どもたち、そして、

「武相新聞」1月1日発行記事に掲載されました。